勤労者福祉センター・男女共同参画センターはあもにいのあり方の方向性について　資料4

雇用対策課･男女共同参画課

1.背景

○ 勤労者福祉センター（雇用対策課所管。以下「サンライフ」という。）及び男女共同参画センターはあもにい（男女共同参画課所管。以下「はあもにい」という。）については、同時期に大規模改修の時期を迎えていることから、両施設のあり方の検討を実施しており、令和５年第４回定例会でお示ししたとおり、利用者や市民等の意見や利用状況等を把握し、今後の検討に活かすためアンケート調査を実施。

○ 今回、アンケート結果に加え、ライフサイクルコストの比較及び施設の利用状況の分析を行い、両施設のあり方の方向性について整理を行ったもの。

2.アンケート結果

（1）対象者　　サンライフ及びはあもにいの施設利用者、関係事業所・団体、市民　等

（2）調査期間　令和６年１月１８日～令和６年２月２９日

（3）回答数　　１，５９２件（サンライフ４２９件、はあもにい１，１６３件（利用者・未利用者含む））

【主な結果】

① 利用時に気になった点　・駐車場が不便　・洋式や多目的トイレが少ない

② 施設に期待する機能　　・充実した講座等のメニュー　・複合的な様々な機能

③ 施設に求める立地　　・広い駐車場のある郊外　・現在地

3.ライフサイクルコストの比較

○ 令和６年度から熊本市公共施設等総合管理計画の対象期間である令和３７年度までの概算ライフサイクルコストを試算
なお、建替、大規模改修、解体費用については、令和４年度に実施した公共事業単価などを参考

○ 大規模改修（複合化）については、はあもにいの方が築年数が新しく、サンライフにない設備を多数有していることから、はあもにいを集約先として試算

		案①	案②	案③
手法		大規模改修(複合化)	建替(複合化) (規模2割縮小)	両施設を存続
施設	はあもにい	大規模改修	建替	大規模改修
	サンライフ	解体		大規模改修
概算LCC(ﾗｲﾌｻｲｸﾙｺｽﾄ) (億円)		89.7	107.6	110.7
総量適正化目標 (公共建築物の延床面積2割削減)		達成	達成	未達成
評価		○	△	×

【結果】

案①（はあもにいを大規模改修してサンライフを複合化、サンライフは解体）の手法が、最も安価かつ総量適正化削減目標（２割）を達成

4.施設の利用状況の分析

○ 令和５年度の利用状況を基に、はあもにいに複合化した場合の稼働率を分析

部屋の種類	令和5年度の使用コマ数			はあもにいの使用可能コマ数②	稼働率①／②
	個別		合計①		
研修・会議室 研修室（はあもにい） 会議室（サンライフ）	はあもにい	1,288	**1,815**	3,024	60.0%
	サンライフ	527			
和室	はあもにい	175	**1,268**	1,008	125.8%
	サンライフ	1,093			
アトリエ 創作アトリエ（はあもにい） 講習室（サンライフ）	はあもにい	190	**680**	1,008	67.5%
	サンライフ	490			
練習ルーム リハーサルC（はあもにい） 多目的ホール（サンライフ）	はあもにい	481	**848**	1,008	84.1%
	サンライフ	367			

【結果】

- 類似する用途の部屋は集約可能
- 和室はコマ数では不足するものの、利用用途から他の部屋で代替可能と判断
- はあもにい大規模改修時に施設の充実化を図ることで稼働率の増加が見込まれる
- サンライフ体育室は他施設の代替使用を案内する

5.分析を踏まえた今後の方向性

- **はあもにいを大規模改修して、サンライフを複合化する（サンライフは解体）。**
- **はあもにいの大規模改修の内容は、基本計画策定時に検討する。**

6.今後の進め方

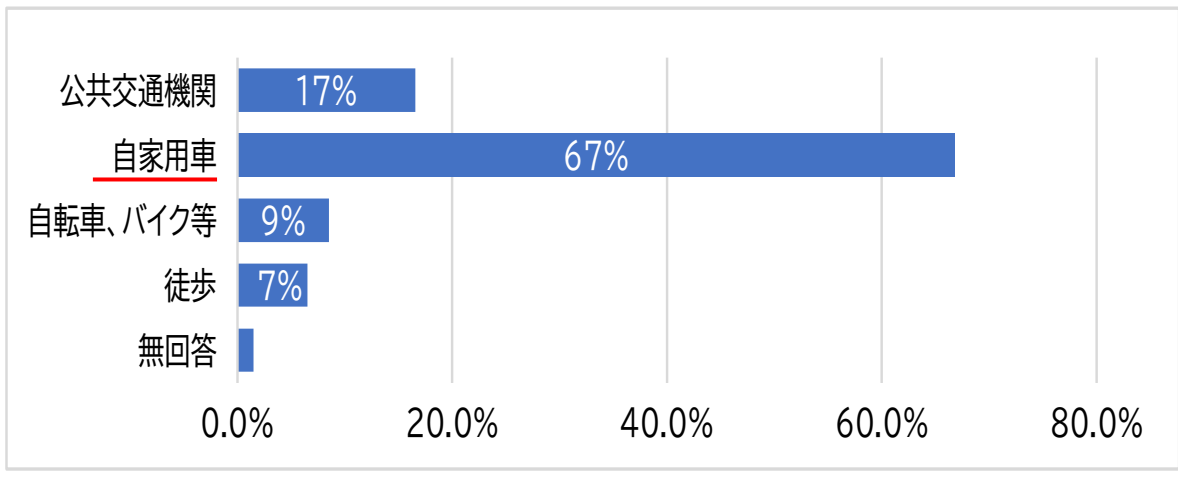
○ 利用者及び地域住民に対して、７月～８月頃を目安に、方向性についての説明会を実施するなど、市民に対して丁寧な説明を行っていく。

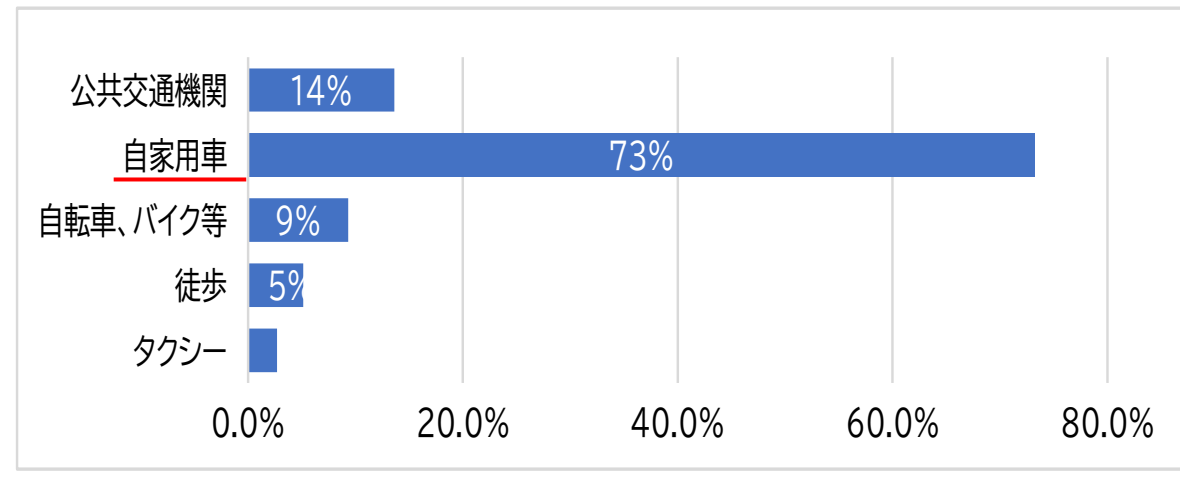
○ 説明会の結果を踏まえて、令和６年第３回定例会にて市の方針（案）を報告予定。

サンライフ

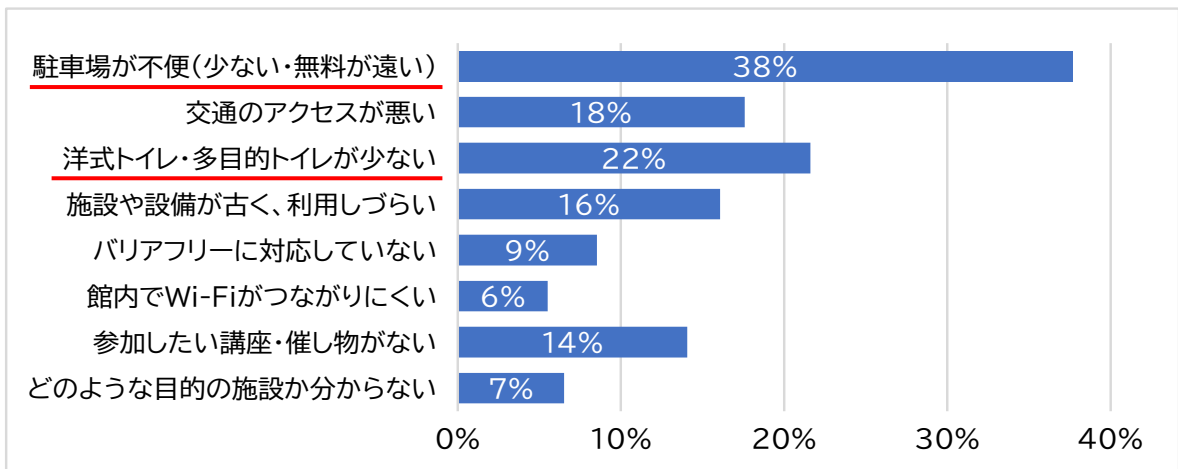
はあもにい

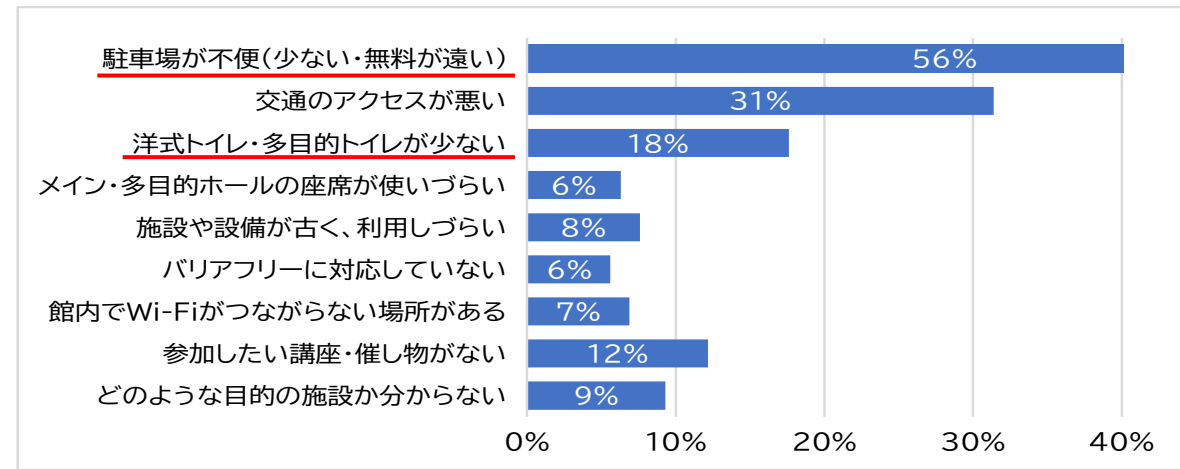
◆ 主な交通手段



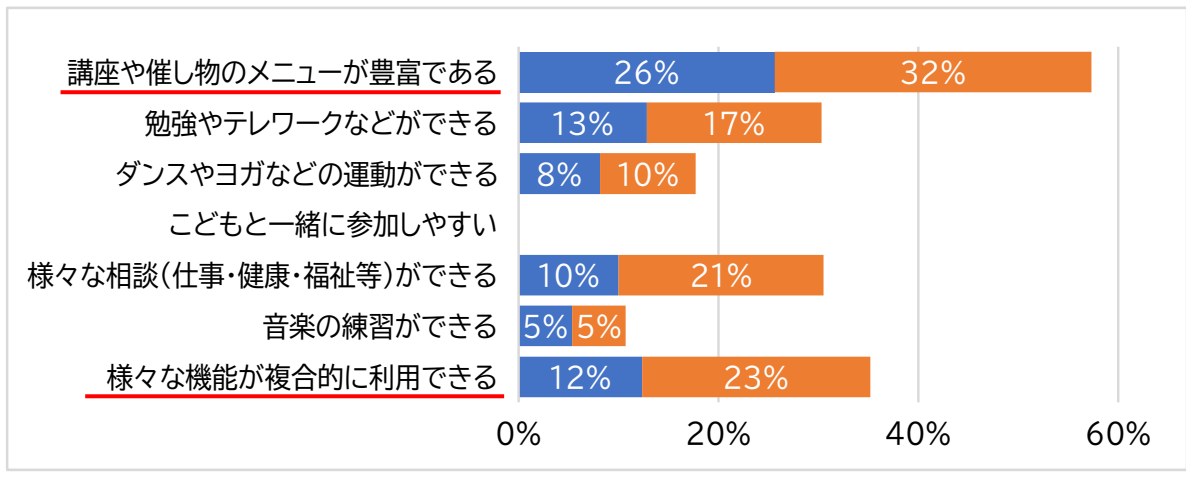


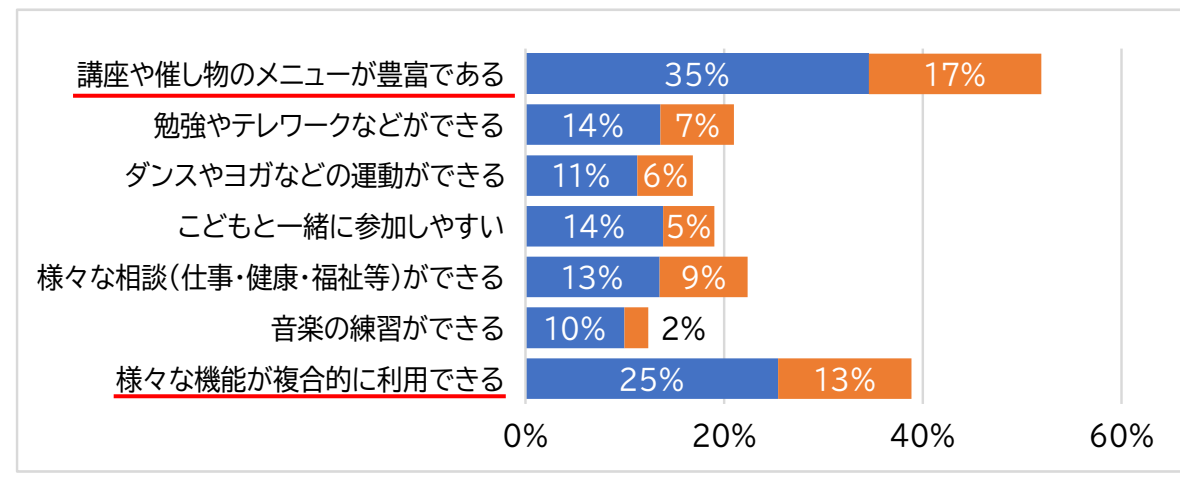
◆ 利用時に気になった点



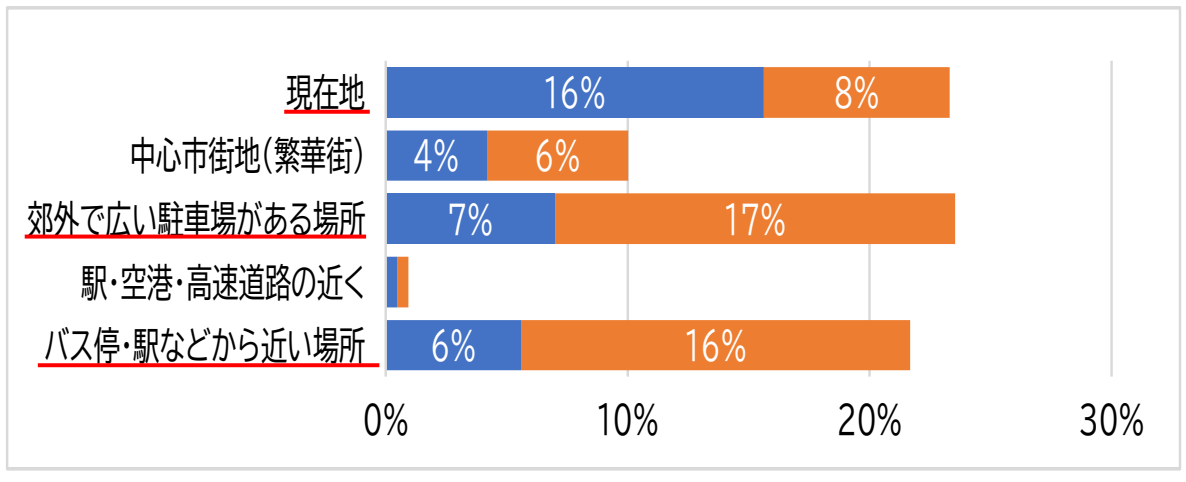


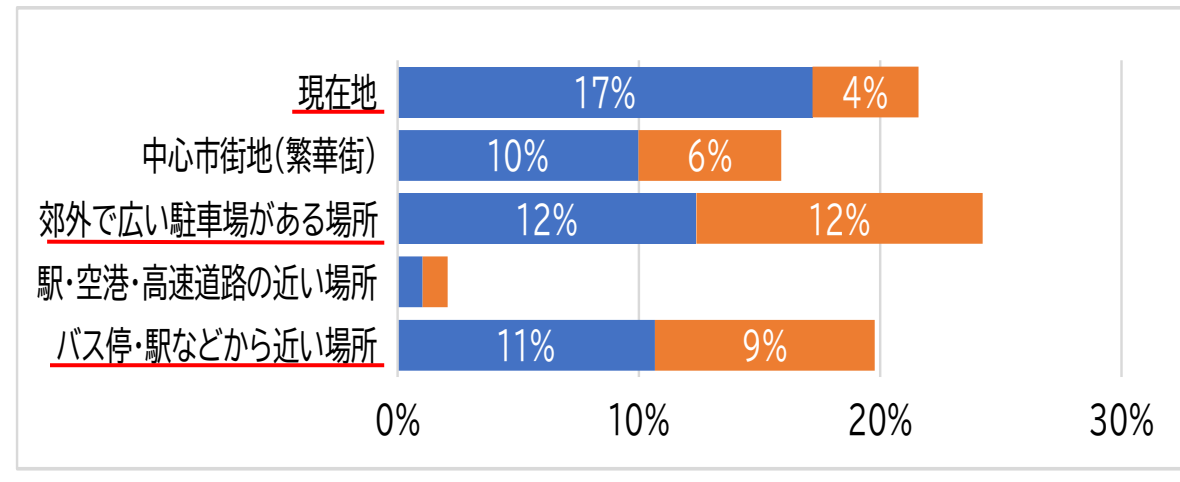
◆ 施設に期待する機能





◆ 施設に求める立地





施設情報

施設名称	サンライフ		はあもにい	
所管課	雇用対策課		男女共同参画課	
建築年度 【築年数】	昭和57年度（1982年度）【築42年】		平成2年度（1990年度）【築34年】	
構造・階層	鉄筋コンクリート造・地上2階建て		鉄筋コンクリート造・地上5階建て	
延床面積	1,422.37㎡		5,448.10㎡	
敷地面積	2,436.42㎡		6,732.18㎡	
用途地域	準工業地域			
場所	熊本市中央区黒髪3丁目3番12号		熊本市中央区黒髪3丁目3番10号	
交通アクセス	【バス】男女共同参画センターはあもにい前下車　徒歩1分 済々黌前下車　徒歩3分 【電車】坪井川公園下車　徒歩3分			
設置目的	雇用の促進と勤労者の福祉の向上を図るため		男女共同参画の推進と市民文化の振興を図り、もって男女相互の自立と調和ある市民社会の実現に寄与するため	
主な事業	① 雇用の促進に関すること。 ② 勤労者の心身の健康及び体力の増進に関すること。 ③ 勤労者の教養及び文化活動に関すること。 ④ 勤労者の福祉の向上に関すること。		① 男女共同参画の推進に関すること。 ② 市民文化の振興及び交流に関すること。	
各施設の設備	**サンライフ**		**はあもにい**	
研修・会議室	○	3室（40人×2室、20人）	○	3室（36人×3室）
和室	○	2室（16人、20人）	○	1室（20人）
アトリエ	○	1室（30人）　※陶芸窯あり	○	1室（36人）
練習ルーム	○	1室（40人）	○	3室（10人、20人、40人）
食のアトリエ	―		○	1室（36人）
食品加工室	―		○	1室（10人）
スタジオ	―		○	1室（10人）
会議室（円卓）	―		○	1室（50人）
ホール	―		○	2室 （メイン：372人　円形多目的：200人）
体育室	○	1室 （バドミントン3面）	―	